

生活・生業の再建、困難に直面

豪雨被災



被災した住宅の写真を見せ説明する(奥左から)末田正彦倉敷市議、仁比聡平参院議員、すみよりの聡美参院岡山選挙区候補、竹永光恵岡山市議、武田英夫元県議＝22日、国会内

西日本豪雨の被災者支援に奮闘する日本共産党岡山・倉敷市議員は22日、国会内で、直面する米可欠な15項目の国の支援を求めて各管庁へ要請しました。仁比聡平参院議員、すみよりの聡美参院岡山選挙区候補が同席しました。

住民本位の支援策に 政府要請 仁比氏と岡山の共産党

このうち医療費、介護利用料の自己負担について、現在、患者が「豪雨で被災した旨を医療機関の窓口に申し出れば減免されて必要と判断する限り、国は財政支援している」と表明しました。また、被災した建物で打ち切られるの

「公費解体」について末田正彦・倉敷市議は、被災した住宅の写真を見せながら、構造上独りよがり、構造上独立した建物の一部も「公費解体」の対象にすべきだと求めました。仁比氏は「被害認定は被災者の生活を取り戻すための支援策に結びつく。住まいの再建が構造上問題なく立ち上げられることが基本だ」と強調しました。内閣府の担当者は「市の対応は」根本的に間違っている。市さらに、住家被害の認定調査に関し、岡山

「公費解体」について末田正彦・倉敷市議は、被災した住宅の写真を見せながら、構造上独りよがり、構造上独立した建物の一部も「公費解体」の対象にすべきだと求めました。仁比氏は「被害認定は被災者の生活を取り戻すための支援策に結びつく。住まいの再建が構造上問題なく立ち上げられることが基本だ」と強調しました。内閣府の担当者は「市の対応は」根本的に間違っている。市さらに、住家被害の認定調査に関し、岡山